

ち～ず

いつも笑顔で仲よく生活しています。
お一人おひとりの自立をお手伝いしています。

平成29年1.2月号

No. 39

初詣

お正月です。お年寄りのお顔が普段と違って嬉しそうに輝いておられました。誰かと顔を合わされると「おめでとうございます」や「お正月じゃね」などと挨拶を交わす言葉も張りがありました。「おせち」を祝った後、「ご利益もらいに初詣に連れて行ってほしいわ」と催促されて身支度もそこそこに近くの神社へ初詣に出掛けました。境内に入ると大勢のご家族連れが来られていました。そして生まれたばかりの赤ちゃんがおくるみに包まれてちょこんと顔を出している姿に目頭が下がり「ちょっと触ってもいいですか」と近寄るお年寄りに優しく寄り添って下さいました。「ありがとう。新しい命に触れる事ができて、もっと長生きが出来そうです」とお話をされていました。「やっぱりご利益あったね」と今年一番の大よろこびが元旦のステキな思い出となりました。



新年会

一月五日新年会をしました。お琴の演奏に合わせて「お正月」「一月一日」を皆で唄ってお祝いをしました。物知りのお年寄りは歌詞の説明をしながら懐かしいお話もして下さいました。その後ゲーム大会をしました。輪投げ、転がし玉入れ等最初は「それは難しいよ」と言われていたお年寄りも、いつもは見られない素早い動きを見せて下さいました。

手足のリハビリになり楽しい時間でした。



水害想定避難訓練

二月十三日に特養と合同で、地震・津波等水害訓練を実施しました。水害は高い所へと逃げて避難しなければいけないのでち～ずのお年寄りも参加し、楽陽荘の二階に避難しました。

歩いて職員と非難する人、職員が車椅子に乗せて避難する人に分かれ「落ち着いて・・・」と声をかけながら訓練をしました。

このような訓練を活かしお年寄り身の安全を確保し、怪我なく避難誘導を行えるように努めたいと思います。



美容クラブ

一月に二回、美容ボランティアの方が来てくださいます。最初は恥ずかしそうにしていたお年寄りも鏡の前に座り、だんだん綺麗になっていく姿ににっこり。周りの方に「まあ、若返って、誰かわからん！」との言葉に苦笑い。冗談や笑いのあふれるひとときでした。



編集後記

だんだんと暖かい日が多くなり、外に出る時も今までより薄着で行けるようになってきました。4月9日(日)には家族会を予定しています。今から全員のお方が参加できるように体調管理に気をつけていきます。

広報担当者

葛原・小林・小野